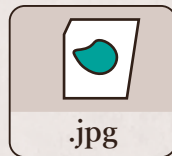
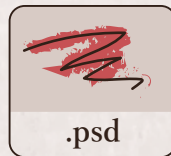




シルクスクリーンってなに？

メッシュに加工をして、インクが通過する穴とインクが通過しない部分を作り図案を刷る印刷手法をシルクスクリーンと呼びます。孔版面の一種で、デジタル孔版印刷のリソグラフとは親戚のような関係です。現在は簡単に製版できる機械もできて気軽に楽しむことができます。

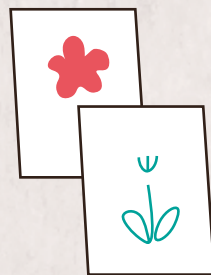
ファイル形式



解像度は
300 dpi

データ・手描き原稿 共通の注意

1. データは色ごとに



アートボードを別々にするとベター

シルクスクリーンの原稿は、色ごとに作ってください。印刷時にインクをのせたくない所は空けておいたり、パスファインダーなどで上手く抜いて仕上げましょう。

2. 黒1色で作る



原稿は黒1色で (グレースケール×)

黒い部分がインクの通る孔になります。濃度の差もある程度は再現されますが、製版・印刷がうまくできないことがあるため、なるべく濃淡はつけないのがポイントです。

3. 実寸大で作る



印刷するサイズで作ってください

原稿は必ず実寸大で作成してください。ご希望の製版サイズの印刷最大範囲をご確認の上作成してください。

4. 細かいところは注意



細い線やヌキは出ないことも

線幅は 0.35mm 以上がおすすめです。それ以下でも製版はできますが、上手く印刷できなかったり目詰まりを起こします。白抜きの場合はより太めの線をおすすめします。

データ原稿の注意

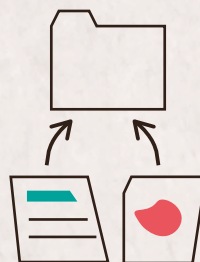
5. アウトライン化



フォントは反映されません

印刷用パソコンにインストールしているフォントには限りがあります。思い通りに印刷するために必ず文字をアウトライン化して、ベクターデータにしてお持ちください。

6. 画像は埋め込みで



リンク切れだと印刷ができません

データを移動させるときには画像などのリンクファイルを忘れずに。リンクウィンドウ内のデータのファイル形式の横に (埋め込みファイル) と書かれていれば OK です。

